

## 農林業経営体調査 調査事項に対する意見に関する追加質問

※ <問〇関係>の問番号は、資料 1 - 1（農林業経営体調査 調査事項に対する意見）の質問事項に対応します。

## &lt;問 1 関係&gt;（世帯員の人数）

1 【1】 2（2）において、「農作業又は林業作業に従事していない人も含む」といった説明がないため、【3】 1 や【12】 1 における経営内部の数字に合わせた回答にされてしまい、作業をしていない人の人数が漏れる可能性があるのではないかと。

2 【1】 2（1）において、自営農業に着目した設問があるため、林業経営体が、この項目は記入不要と誤解する可能性がある。

調査票の冒頭で「すべての方が記入する項目」としてはいるが、調査事項の部分にも、記入漏れが生じないように、注釈が必要ではないかと。

## &lt;問 3 関係&gt;（経営開始又は経営継承からの期間）

1 【2】 2 では、2つのことを一度に聞いているために、分かりにくくなっている。一度に聞こうとしているために、設問文自体に「から」が入り、より分かりにくくなっている。むしろ、

1 問目を、2（1）として

「あなたは、農業経営を自ら開始したのですか？ 別の人から継承したのですか？」

2 問目を、2（2）として

「開始の場合には開始後の年数を、継承の場合には継承後の年数を教えてください」

と明確に分ける方が、記入しやすいのではないかと。

2 更に言えば、特に、団体経営体（企業を含む。）の場合、経営主（企業の場合は社長等）が交代した場合は「経営継承」になると思うが、経営主の継続年数以上に重要なものは、団体の存続期間であり、経営主が短期で交代するか否かということは、団体の存続とは本質的に関係がない。むしろ、「経営開始」「経営継承」を分けて聞くことで、かえって報告者に迷いが生じるだけではないかと。

したがって、「経営開始」「経営継承」の区分が、利活用上で重要な意味を持つのであれば別だが、

この経営体の経営主となってからの期間を教えてください。

と聞けば足りるのではないかと。

（注）ただし、団体の存続期間については、申請された案においても設定されていない。

3 【2】2について、仮に、「経営継承」「経営開始」の別で把握するのであれば、用語の意味するところを報告者にも分りやすく伝えることが必要。

例えば、次のような例については、報告者において、「経営継承」か「経営開始」のどちらで扱うのか判断が難しいのではないか。

例1 親から農地や設備等を継承して法人化した場合

例2 個人経営体だったところ、集落営農組織に加わった場合

例3 法人でない集落営農組織が法人化された場合

#### <問7関係>（農作業に従事した人数）

1 【3】1（農作業に従事した人数）の情報は、【3】2～4の情報から得られるものなので、一見すると、重ねて記載させる必要はないと思われる。

報告者に負担を課してまで、重複した記載を求める必要があるのか。

2 仮に、【3】1の設問を残すとしても、回答欄右にある矢印により誤誘導を引き起こす懸念がある。

例えば、経営内部の労働力を記載し、誘導線に従って、「2」に詳細を記載することで、記入が十分と判断してしまい、「3」～「5」の記載を忘れてしまう場合が想定される。

このようなことから、以下のような対応もあるのではないか。

①矢印部分の記載を削除

②矢印ではなく、他の部分と同様、青枠の注釈形式にして記載

3 【3】1においてなされている「経営内部」の説明について、任意団体の「構成員」の説明が、具体性を欠いているのではないか。

例えば、任意団体の集落営農の場合、構成員とは、各経営体の代表者だけのことを指すのか、あるいは、各経営体における農作業を行う世帯員も含むのかなどについて、説明が必要ではないか。